



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-9

3月号

発行 2022年3月10日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、部・区・国際などの活動にも積極的に参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World”
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:

“Make a difference beyond the 100th”
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

・卓話: (仮題)「川越キングスガーデンの被災と復興の現状」

・卓話者: 山本剛史郎ワイズ

*当日は、「古本再読」のために献本された 500 冊ほどの本を見て、興味のあるものを持ち帰ってもらえるよう、午後 3:30 に川越YMCAに集まって下さい。

巻頭言

会長 吉野勝三郎

私は、77歳にして、55年振りに両膝関節置換のため私の人生で二回目の入院・手術をすることになりました。前回は、22歳で卒業・就職の年でした。右下腹の腹痛が収まらず、神奈川県下の市立病院で診てもらったところ、慢性盲腸と診断され、都合の良い時に入院して下さいと言われました。そこで、家族の希望もあり、地元に戻って別の病院で再検査してもらったところ、どんな検査をしても盲腸の症状は確認できないので手術はできないというのです。“えっ”とビックリ。でも、入社して半年ほどの自分としては、3週間も会社を休んで、どうもありませんでしたと、このこ出社するのは恥ずかしいやら、同僚や上司に対して面目ないので、主治医に、盲腸は無くて良い臓器と聞いているので、切除して下さいとお願いしました。医師は手術を渋りましたが、あなたが希望するなら切りましょうかと同意して手術となりました。当日は、半身麻酔で、盲腸を切除した直後、筒状の臓器をハサミで切り開いて見せてくれました。その中にはX線検査のための白いバリウム液が残っていて、この医師の診断どおり、炎症は全くなききれいでした。その医師の診断は正しかったのです。その後は、寒い冬の日少し傷跡が痛むことはありましたが、ここ

3月の聖句

罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。(ローマに信徒への手紙 6章 23節)

For the wages of sin is death, but the gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord. (Romans 6:23)

2022年 2月の統計 (2月26日)

在籍10名	出席者7名
ビジター	3名
出席率	70%

3月例会予告

日時: 2022年3月19日(土) 16:00~18:00

会場: 埼玉YMCA川越センター+リモート参加

内容: 2019年10月、台風19号の被害を受け、移転を余儀なくされた川越キングスガーデンですが、やっと移転先で新しい施設が完成し、入居が始まりました。被災から復興までの道のりを職員として見つめてきた、山本剛史郎さんから伺います。

20年ほどはそのようなこともありません。結果として、手術して良かったので、今でもその医師に感謝しています。

今回は、二週間の入院後3ヶ月のリハビリが必要と言われていました。この私の入院のため、皆さんが、3月例会を一週間繰り上げて、19日に開催することにして下さり感謝です。今回の手術が成功して、歩行時の膝の痛みが無くなり、今まで以上にYMCA・ワイズの皆さんとの交流が広がりが深まることを期待しながら入院します。

2月例会報告

書記 利根川恵子

日時：2月26日（土）16:00～18:30

場所：川越YMCAおよびZoom

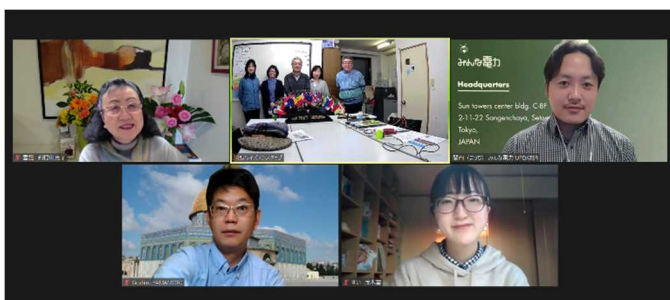
1. 卓話（要旨別途掲載）

卓話：「カーボン・ニュートラルの世界を目指して～現代の若者が安心して暮らせる地球に！！ コンセントの向こうの発電所に想いを巡らせたことはありますか？～」

卓話者：株式会社UPDATER（旧：みんな電力株式会社）事業本部 マネージャー 間内 賢 氏

2. ボランティア・リーダーの成人を祝う会

- ・吉野会長からお祝いの言葉および記念品贈呈
- ・成人リーダーの抱負 茂木 董（もてぎすみれ）さん
茂木さんはオンラインで参加し、ボランティア・リーダーの経験を生かして将来は特別支援教育に携わりたいと抱負を述べました。もう一人の成人リーダー、石井理佳子さんは、ご都合がつかず欠席でした。
- ・メンバーから激励のこぼれ



・3月10日に欠席だった石井理佳子リーダーからお礼のメールが届きましたので、ご紹介いたします。

埼玉大学教育学部1年の石井理佳子です。
現在、川越センターでボランティア・リーダーをしています。先月は、成人のお祝いをしていただき、ありがとうございました。
私は小学校コース自然科学専修理科分野というところで勉強しています。まだ1年生のため、初歩的なことですが、学校についてや教育について勉強しています。
学習のボランティアに興味があったため、

YMCAのボランティアができる授業を選んだことが、YMCAを始めるきっかけです。

YMCAでは、子どもたちとの関わり方を学びました。このような機会がないと子どもと関わることはないので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

石井理佳子

3. 協議事項

1) 東日本区大会アンケート

Zoom参加が可能となるよう要望

2) 今後の予定

- ・3月5日（土） 次期クラブ会長・部役員研修会
（山本次期会長、利根川太郎次期東日本区国際・交流事業主任、両者LT委員として参加）
- ・3月19日（土） 3月例会(26日から19日に変更)
- ・4月2日（土） 「関東東部EMCを考える集い」
14:00～ 生川さん発表

3) 3月例会について

- ・日時 3月19日（土） 16:00～18:00
*吉野会長の入院の関係で1週間前倒し
- ・内容 川越キングスガーデンが水害の被害を乗り越え、移転先で運営が開始されたので、そのご苦勞を当事者の山本剛史郎ワイズから伺う。

3. 報告事項

- 1) 古本再読：3月例会の前に献本を見て、興味のある本を持ち帰る。
- 2) Y-Forest Coffee 到着済み。販売開始。
- 3) 「わいわい食堂」：3月の予定は未定。
- 4) さいたま市国際NGOネットワーク主催「わくわくグローバルフェスタ」に、生川、山本、河合、利根川太郎・恵子が参加。

2月例会卓話報告

会長 吉野勝三郎

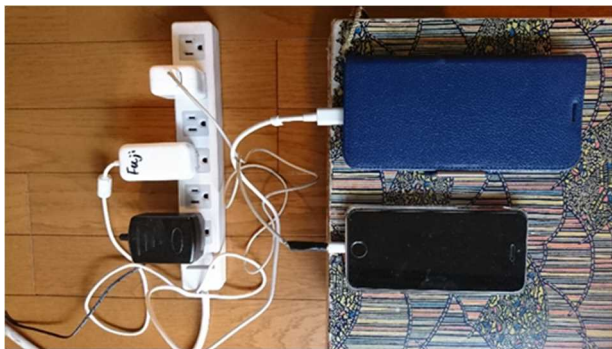
卓話：「カーボン・ニュートラルの世界を目指して～現代の若者が安心して暮らせる地球に！！ コンセントの向こうの発電所に想いを巡らせたことはありますか？～」

卓話者：株式会社UPDATER（旧：みんな電力株式会社）事業本部 マネージャー 間内 賢 氏

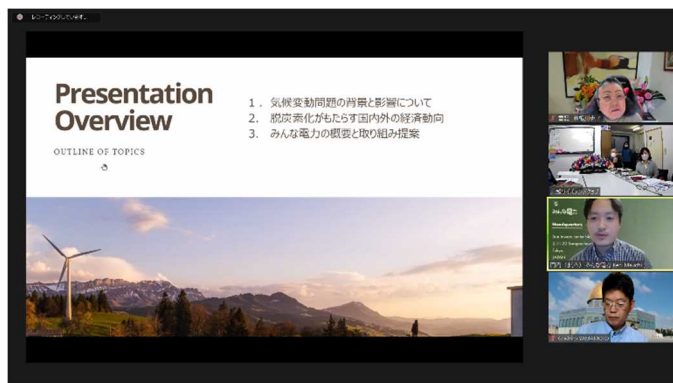
卓話者略歴：大手人材派遣会社にてダイバーシティ推進事業に従事した後、2014年よりみんな電力に入社。電源開発事業部長代理等を経て現職。SDGs/ESG関連の事業

私の朝は、自分の携帯電話の電池を充電することから始まります。その際に、コンセントの先のことなど考えたことはありませんでした。コンセントを繋げば電気が流れてくることはいとも当然のことでした。でも、今回、間内さんのお

話を聞き、また、ウクライナで多くの停電が発生していることを知り、コンセントの向こうの発電所と送電網に想いを巡らせています。



今回は、今年度の川越ワイズメンズクラブの新しい学習課題として掲げた2つの内の一つとして学びました。地球温暖化が私たちの日常生活にさまざまな影響を与えていることは、広く報道されているとおりです。その解決策はCarbon Neutral と呼ぶ二酸化炭素発生量を抑える活動です。その場合、発電所で発生する二酸化炭素を減らすのが喫緊の課題となっています。



そのような中で、2016年4月1日から、電気の小売りが自由化されました。今回卓話をしてくれた会社は、Carbon Neutral を積極的に行うことを主眼として電力の小売りをを行い、二酸化炭素発生を抑制する活動に積極的に取り組んでいます。同社は、YMCAを含めて、日本国内の多くの企業と契約しています。これは、YMCAを含めて同社と契約している企業の一部です。



電力小売りに関しては、4 分間で見ることのでき

る動画がありますので、ぜひ下記のURLを見て下さい。
<https://www.youtube.com/watch?v=xeuTo8N5Gvw&t=7s>

又、1980 年から環境問題に取り組んでいる団体として、認定特定非営利活動法人 - 国際環境 NGO FoE Japan も紹介してくれました。

https://www.foejapan.org/infomation/news/30th_1.html

間内さんが所属する会社の勉強会は、残念ながらコロナ禍のため、現在は開催されていないようですが、再開されたら、ぜひ参加したいと思います。

YMCA 報告

河合今日子

<公益財団法人埼玉 YMCA まん延防止等重点措置期間についてのご案内>

3 月 6 日(日)までとされた埼玉県による「まん延防止等重点措置」ですが、3 月 4 日(金)に措置期間の延長となったことを受けまして、引き続き徹底した感染症拡大予防策を講じて、一部事業を除き予定通りにプログラムを実施いたします。皆様には引き続き入館時やプログラム参加における対策へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。3 月に延期しておりましたスキーキャンプはすべて中止といたします。

<ウクライナ緊急支援募金>

埼玉 YMCA は世界の YMCA と連帯して、以下の取り組みを進めてまいります。

引き続きお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ポジティブネット YMCA 国際協力募金 ウクライナ緊急支援募金



YMCA stands for peace; YMCA works for peace

YMCA は平和を希求し、平和のために働く

日本のYMCAでは、国際的な意見の相違があっても戦争が解決になることはなく、対話と協力による外交的な解決策が見つかり、武力紛争が一刻も早く終結することを強く願っています。

侵襲直後から、ウクライナYMCAでは爆撃地から逃れる人々のための宿泊・食料・衣料品・衛生用品の提供を開始し、今後は子どもや若者の心理的・社会的支援を行っていきます。ウクライナ近隣諸国のYMCAでは連携を取り、24時間体制で避難民の受け入れ、生活支援が行われています。世界YMCA同盟及びヨーロッパYMCA同盟から募金の呼びかけがなされています。いま不安の中にいる人びとが少しでも安心して過ごせるよう、一人ひとりの命が大切に守られるよう、ご協力をお願いいたします。

<募金の使途>

1.ウクライナYMCAが行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動のために用います。ウクライナYMCAは国内25拠点を有して、宿泊場所提供、食料、衣類、医薬品、衛生用品を提供しています。また、恐怖心・トラウマを抱える子どもと若者に、心理的、社会的な緊急サポートを行います。
 2.ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外に避難するウクライナの人びとへの緊急生活支援のために用います。

募金はこちらへ

【ゆうちょ】郵便振替口座 00120-5-118690

【銀行】埼玉りそな銀行 新所沢支店 1055522

*上記共に名義は 公益財団法人埼玉YMCA
 *通信欄に「ウクライナ支援」とお書きください。

*募金は、日本YMCA同盟を通して、世界YMCA同盟に送金いたします。上記プロジェクトは、日本YMCA同盟が加盟する世界YMCA同盟と、ヨーロッパYMCA同盟のもと行われています。

埼玉YMCA

公益財団法人埼玉YMCA ポジティブネット募金事務局 〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町 1-39-2 Tel:04-2939-5051



<川越センターピンクシャツデーの取り組み>

2月の最終週は『ピンクシャツデー』についてそれぞれのプログラムで行いました。

①野外活動(トースター)

活動の初めに、絵本『おばけのバーバパパ』を読み「ひとりぼっちのお友達を見かけたら、どのように声をかけるか。」

「みんなでなかよく遊ぶ為には？」を考えました。

「遊ぼうよ。」「みんなでいよう。」「ひとりぼっちにはしない。」とひとりひとりよく考えることができていました。

②放課後等デイサービス(クローバー:中高生)

コロナ禍における差別・偏見についてやいじめ防止対策推進法・いじめを抑える大事なこと

→いじめを許さない空気を作ることを考えました。

「余計なことに巻き込まれたくないから風の噂を流して対応する。」

「実際何もできないと思ったけれど、小さなNOなら出せるかも。」

「ニュースを信じすぎない。」等、自分事として考えていました。

③放課後等デイサービス(クローバー:小学生)

絵本を読み、その後ピンクシャツを折りました。

「自分と違う=敵ではない。」ことや「人も自分も大切」だということを確認しています。

④語学

有志で受付前掲示板の作成をしました。



<職場復帰のご報告>

3月より川越センター配属となりました長尾愛美(ながおめぐみ)です。育休前は浦和センターにて勤務しておりました。

私事ではございますが、初めての出産・育児を経験し、YMCAという組織に関わりながら、その経験ができることに感謝しながら日々過ごしております。というのも、コロナ禍

の出産ということもありYMCAに関わる多くの方々に、温かいお声がけをいただいたためです。

復帰後は、YMCAに関わる皆さまとやりとりさせてもらう中で、ポジティブネットを広げるお手伝いがかできればいいなと思っております。来館された際には、気軽に声をかけてくださると嬉しいです。皆さまに直接お目にかかる日を楽しみにしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【今後の日程】

○ 3月19日(土)16時~18時

3月例会

卓話:(仮題)「川越キングスガーデンの被災と復興の現状」

・卓話者:山本剛史郎ワイズ

○ 4月2日(土)14時~ Zoom

関東東部 EMC を考える集い

・ワイズに入会して比較的新しい方々から、ワイズに入るきっかけや入会後の感想などを聞くことになっています。新しいワイズの一人として、生川美樹さんが発表します。ぜひご参加ください。

○ 4月23日(土) 時間は未定

4月例会 川越散歩および Week4Waste ゴミ拾い

○ 5月28日(土)14時~16時

3クラブ合同例会

埼玉クラブ・浅羽俊一郎会長のご両親のお宅、「き咲きてらす」にて、野村路子さんの卓話予定。詳細は、決定しだいお知らせします。

【編集後記】



ワイズメン国際協会が国際女性デー(3月8日)にちなんで、女性の現・次期国際議員を入れたポスターをFBにあげました。15名のうち現在は3名、7月からは4名となりますが、まだまだ少数です。YMIの中で、数だけの問題ではなく、いろいろな意味でジェンダー・イクオリティ(男女平等)を考えてみようと思います。実際、YMIのブランディング委員会では、名称の“ワイズメン”や“ワイズ・メネット”について検討しているそうです。時代に即した組織の体質改善は、EMCの観点からも必要ですので、できることから取り組んでみます。(T.K.)